

あいさつ

とでつながる上島町



上島町長
上村 俊之

上島町の皆様、あけましておめでとうございます。
輝かしい新春を迎え、懐かしい顔と共に明るく賑やかな笑い声に包まれていらつしやるのではないのでしょうか。

昨年を顧みますと、東北大震災からの復興に向けての歩みがやっと始まり、国の積極的な財政・人的施策遂行はもちろん、国民である私達も更なる支援が必要である事を認識した一年でもありました。諸外国からの多くの援助も、日本人として忘れてはなりません。その受けた恩を次の世代に伝えることも、今の私達の大切な責務であると考えています。

今後とも町民の皆様のご理解をいただき、被災地に対し、上島町においてできる限りの力を尽くしたいと考えておりますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、昨年は選択の年でもあり、上島町町長・

町議会議員あるいは衆議院と、上島町の将来を託す選択選挙が続きました。町長選挙においては、私の政策や信条を支持して頂いた結果となり、真つすぐに公正な政治姿勢を評価して頂きました。今後も不正な圧力や迎合主義に屈することなく、上島町民の幸せのみを考えて、何百とある行政施策にぶれることなく全力で取り組んでまいります。

国の政権交代があつた3年前、私は上島町定例議会での行政報告において「あのマニフェストの財源はどこにあるのか」と意見を述べさせていただきました。国政選挙の結果は主権者である国民が選択したものであり、その時代の国民の考えが大きく反映されています。その後の責任は選択した国民も負うべきであり、国会議員だけに押し付ける訳にはいきません。国際的にも、国会議員のレベルは国民のレベルであるとも言われています。私達国民は、聞こえの良いいマニフェストやマスコミの風潮に流され続けてきた今までの政治判断を考え直し、これからは現実的・計画的、そして相手を思いやる客観的な考え方が必要な時期であることを自覚するべきではないでしょうか。

私は新たな政権が政局ではなく、国民目線で国民の為にだけ全力を尽くし、景気回復を実現してくれること、今年がその始まりとなりますことを初夢にしたいと思っています。

さて、町民の皆様の「夢」は何でしょうか。十人十色、様々にあると思います。「夢」とは何か、それは思いが実現することです。「幸せになる事」であるとも言えます。

幸せにも様々な形があります。大きな望みもあるし、ささやかな希望もあります。ある事が実現しても幸福感を覚えない人もいます。涙が出るほど感動する人もいます。猛勉強をし有名大学に入り大きな会社に就職しようとするのも、結局は「幸せになる事」が目的ではないでしょうか。ただ、勉強ができなくても、小さな家であつても幸せな人達はいっぱいます。同じ夕焼けを見ても何も感じない人と、美しいと思う人がいるように。

私は、良い事がなくても穏やかで何もない日々

も知れませんが、行政運営においても当たり前の一日にすることが最も大切な仕事であると位置付けています。

幸いなことに上島町は自然災害も少なく、上下水道や光通信も100%完備、救急医療体制も他の離島に比較しても整っています。私は全国離島振興協議会の副会長として、日本全国の離島を訪ねていますが、上島町のような美しい自然景観が残る地域で、このような条件が備わっている島は希です。他の離島を視察するたびに、その島の独特な文化や景観に感動するとともに、「やつぱり、ふるさと上島町は良いな」と再認識しています。

個人的な感情をお伝えしましたが、上島町としての将来計画や夢はもちろん必要であり、描かなくてはなりません。ご案内のように上島町は中長期計画により、10年後を見据えた運営を行っていますので、健全な財政状況にあります。この結果は先人の知恵と町民の皆様のご理解の賜物であり、受益者負担の原則の下、バラマキ政治ではない事の証明にもなっています。

「夢」はたくさんあり、「夢とは叶えるもの」です。今年の上島町の大きな夢は「岩城橋の実現」です。生名橋架橋に向けて、地域住民の熱意により知事を感動させ国を動かしたように、上島町民の力で岩城橋は実現できます。町民お一人お一人の力で岩城島と生名島に橋を架けましょう。一つの目標に向かって上島町民が肩を組みましょう。そのスクラムが強ければ強いほど、他の施策も必然的に成就していきます。

上島町発展の為に、久しぶりに帰省された皆様をはじめ、町外に在住されている上島町出身の方々、あるいは関係者の皆様方のお力添えが必要である事は言うまでもありません。ふるさと納税をはじめ遠くから暖かく上島町を見守ってくれていることに心から感謝申し上げます。「日本で一番美しいふるさと」であることに誇りを持つていただきたいと思います。

結びに、本年が皆様にとりましてより良い年となり、健康で明るく楽しい日々になりますことを、心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶と致します。

上島町長 上村 俊之

平成25年 新年のご

海と緑と太陽
笑顔



上島町議会議長
土居 計彦

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。新たな希望と抱負を胸に、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまして、また、上島町にとりまして素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。また、昨年中は、町民の皆様には、町議会の運営に對しまして、深いご理解とご支援、ご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、上島町議会は、昨年11月の改選で新体制になりました。岩城地区からは女性議員一人

を含む新人二人が加わり、生名地区、弓削地区からは元議員が一人ずつ返り咲きました。

新体制では、各島選挙区1人ずつ減員の14名の議員で町民の皆様の負託に應えるため全力で取り組んでいく所存です。私の議会運営の基本理念は「住民の皆様が暮らし易いと感じることが出来る町にしていこう」と「住民の皆様に寄り添った行政が行われるよう見守っていくこと」の二本柱です。

そのためには、議員自らが積極的に研修・研鑽に心がけ、町民の皆様の要望や意見を自分の意見として、勇気をもって議会に提案し、臨む姿勢がなければなりません。理事者の提案に対して、町民の幸せにつながっていくのかよく考えて、是々非々の行動をとることが大切です。

各常任委員会も定期的に開催し、先進地視察等についても積極的に実施し、その中の優れた施策は上島町に取り入れ実施できるよう提案しなければなりません。

今回の選挙期間中、皆様からの要望を直接お聞きし強く感じたことは次のとおりです。

- ① 高齢者福祉施設の建設・誘致等の早期実現
- ② 猪等の鳥獣被害対策の着実実行
- ③ 造船の受注減等で雇用の場が減らないように働く場所の確保・企業誘致
- ④ 元気なシニア世代によるふるさとの海と山の自然の整備・活用
- ⑤ ふるさと上島町の多島美を生かした観光客の誘致

- ⑥ 特に喫緊の問題として上島架橋（岩城橋）の整備推進はもとより、廃止になった尾道航路の復活等、住民の生活の足である公共交通体系の整備充実強化

以上のような住民の生活に直結する施策・政策を町と議会が一体となって推進実現しなければならぬと思っています。今後とも議会に対する皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

結びに町民の皆様にとりまして、この一年が希望に満ちた輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

上島町議会議長 土居 計彦

上島町議会

議長
副議長
議員

松原	池本	原博	竹林	原山	前田	濱田	檜垣	亀井	寺下	林廣	古崎	平山	土居
彌興	一治	彦夫	秀男	公二	省高	嘉成	一文	満憲	廣道	幸江	計彦	昭彦	計彦